

請願第1号 平成24年2月27日受理

件名 国に対し「公的年金切り下げ等に反対し、拡充する意見書」
の提出を求める請願

請願者 熊谷市箱田5-2-8
全日本年金者組合熊谷支部
支部長 浦上米子 外201名

紹介議員 大山美智子

要旨 別紙のとおり

付託委員会 市民産業常任委員会

【件 名】

国に対し「公的年金切り下げ等に反対し、拡充する意見書」の提出を求める
請願

【請願趣旨】

野田政権は2012年4月から公的年金額を0.3%減額することを決定しました。さらに、「社会保障と税の一体改革」による年金改定で年金支給額を2012年から14年までの3年間で2.5%下げる法案を提出する準備をしています。このことは低額年金受給者の生活を圧迫するばかりでなく、児童扶養手当、障害児福祉手当などにも影響し、地域経済にも大きな打撃を与えるものとなります。

国民、高齢者の生活が厳しさを増している中、政府は国民の生活の苦しみをよそに、重大な年金制度の改定を推し進めようとしています。

年金は高齢者の生活を維持するための命綱です。単身高齢者の30%が年収100万円未満です。国民年金だけの人の44%近くが受給を繰り上げて減額年金を受け取っています。今後の改定が実施されれば、高齢者は追い詰められ、孤独死などもさらに増えることが懸念されます。このような年金改定はすべきでないと切望します。

よって、貴議会在、年金受給者の生活をまもるために公的年金等の切り下げに反対し、拡充する意見書を国会及び政府に提出することを請願します。

【請願事項】

- 1 高齢者の命綱である年金支給額の切り下げは止めてください。
- 2 年金支給額開始年齢のさらなる引き上げはしないでください。
- 3 無年金・低年金者に対する緊急の救済措置を講じてください。

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。